



**土曜学習「わかまち 多治見大好き講座」
参加してみて考えたよ！**

**第5期 多治見陶磁器探検隊③
～現代陶芸家になろう～ (8/30)**

1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・伊藤慶二さんが描いた絵や陶器や布、いろいろな作品が飾ってあって、とてもすごかったです。(小5)



・土みたいなもので創られたのが「じゃんけん」になっていてびっくりしました。「ちよき」が珍しいかたちをしていたのでどうしてだろうと思いました。(小3)

- ・伊藤さんの作品がたくさん工夫してあって、私は絵が気に入りました。(小4)
- ・美濃焼などの焼物は、お茶碗やコップ、お皿などだけではないとわかりました。(小4)
- ・絵付け体験の時、紙(転写シート)を水に浮かべて貼ることを初めて知りました。(小3)
- ・転写シートは2枚重ねて貼ることができるということがわかりました。(小2)
- ・陶器を作る人たちは、いちいち絵を描かなくてもいいように転写シートを貼って、陶器の生産量を増やして日本全国に広げているから陶器は岐阜県がとても有名だとわかりました。(小4)
- ・バックヤードに行ったら楽しかったです。(小1)
- ・人が持てない展示物は、2000kgまで持つことができるクレーンで運ぶということがわかりました。(小4)
- ・実際に作家さんの作品をみてから体験することで、子どもの興味や理解が深まったようで貴重な学びになったと思います。(小3保護者)
- ・毎年参加していますが、美術館の展示が毎年異なるので、毎回楽しく参加しています。(小4保護者)

2. 50年後の多治見はどうなっている?(といいな。)

- ・陶器でいっぱい多治見になっていて、歴史を感じるものになっていると思います。(小5)
- ・いろいろな陶器がいっぱいあって、殺人事件とかが無くて、幸せに暮らせる町になっています。(小3)
- ・器や焼き物の仕事をする人が増えて盛んになっています。(小2)
- ・陶芸のことを次の子どもたちへつないでいってほしいと思います。(小6)



3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ①伊藤慶二さんみたいに、器や焼き物を作る人になりたいです。(小2)
- ②私は陶芸のことを次の子どもたちにつなげていきたい。そのために陶芸のことをもっと知りたいです。(小6)
- ③陶芸家になりたいから土曜学習にたくさん参加したいです。(小4)
- ④私は陶器でたくさんのお皿作りをやってみよう。そのために、少しでも勉強して陶器に詳しくなって、お皿を作れるようにがんばりたいです。(小3)
- ⑤陶器にいろいろ貼ってみたい。そのために陶器のことを知りたいです。(小2)
- ⑥私は陶器屋さんをやりたい。もっと陶器のことを知りたいです。(小3)
- ⑦私は陶芸家になりたい。そのために、たくさん陶器などを作りたいです。(小4)
- ⑧多治見が陶器で有名になるために、どんどん陶器を買って使いたいです。(小5)



※今回の講座で、17%の受講者が多治見の陶磁器産業と関連した自分の将来の夢をイメージしている。

4. その他参加して思ったこと

- ・セラミックパーク美濃を管理している人たちも楽しかったし、教えてくださったボランティアの方々もいろいろな発想があって楽しかったです。(小5)
- ・中学生ボランティアの人が楽しかったのうれしかったです。(小1)



II. 中学生ボランティアより

1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・何でもそのまま表すだけでは、本当の意図を伝えられないと伊藤さんの作品を見て思いました。(中2)
- ・小学生の子が積極的にたくさん質問していたので、知識が増えました。(中2)

2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・陶磁器の製造技術が上がリクオリティーの高い陶芸作品を作れるようになり、より多くの陶磁器を生産でき世界の陶磁器のシェア率を上げ、より有名になっていると思う。(中1)

3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ・陶芸家になりたい。そのために積極的にイベントに参加し美術の授業にまじめに取り組みます。(中1)

4. 中学生ボランティアに参加して

- ・グループの子たちはとても素直に呼びかけに応じてくれて助かりました。テスト明けで色々大変な部分もありましたが、とても楽しい講座でした。ぜひ来年も参加したいです。(中2)